

KSN 通信 VOL.172

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

秋の夜は長く、「長月」や「夜長月（よながつき）」とよばれており、ほかに、重陽の節句（別名：菊の節句）にちなんで「菊月」ともよばれています。秋分の日は、「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日とされているほかに、「昼と夜の長さがほぼ等しくなる」日でもあり、この日を境に昼と夜の長さが逆転して、暑さも少しずつ和らぎます。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、これは秋分以降、日が短くなって寒さが増していき、春分以降は日が長くなり暖かくなるので、季節の目安とされた事に由来しています。



■ KSN からのお知らせ

■ 排ガス測定(自社測定)の結果について

先般、実施しました弊社炭化処理施設の排ガス測定（自社測定）の結果についてお知らせいたします（下表）。今回も、国の規制基準を十分に下回る結果を得ることができました。引き続き、法律・条令を遵守して環境保全に精励いたします。

過去の測定結果につきましては、弊社ホームページ上にて随時更新しております。

排ガス測定結果（自社測定）

ダイオキシソ (Ng-TEQ/m ³ N)	ばいじん (g/m ³ N)	硫黄酸化物 (ppm)	塩化水素 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)
0.032	0.011	26	<5	7

■ 環境ニュース

■ 廃棄物処理法に基づく廃棄物の輸出確認及び輸入許可(令和3年)について

環境省では、毎年「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく廃棄物の輸出入の実施状況について集計が行われており、今般、令和3年1月から同年12月までの状況についての取りまとめが公表されました。

令和3年1月から同年12月までの間に、廃棄物処理法に規定する手続を経て実際に国内から輸出された廃棄物の量は、866,754 t（令和2年は872,318 t）であり、輸入された廃棄物の量は、2,568 t（令和2年は3,280 t）です。

廃棄物の輸出報告のあった品目は、ほぼ石炭灰で全てセメント製造における粘土代替原料又は混和材としての利用を目的とするものであり、輸入報告のあった品目は廃乾電池、水銀含有汚泥等で、ほぼ全て資源回収を目的とするものでした。

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004